

平成29年度高齢者のケアを支える人材のケア技術の充実に向けた研修会

“歩き続ける”を支えるためのフットケア

【開催日時・会場】

平成29年9月26日（火）10：00～15：30

西予市教育保健センター 4F 大ホール
〒797-0029 西予市宇和町卯之町3-434-1



【プログラム】

午前の部：講義・演習Ⅰ

「“歩き続ける”を支えるためのフットケア ～爪と皮膚のケア～」

講師：愛媛県立医療技術大学 看護学科講師 永井 さつき
西予市立野村病院 糖尿病看護認定看護師 二宮 里佳
西予市立野村病院 日本糖尿病療養指導士 松本 禎子
実技指導：愛媛県立医療技術大学 看護学科 教員 2名

午後の部：講義・演習Ⅱ

「“歩き続ける”を支えるためのフットケア
～足の機能を高めるリハビリテーション～」

講師：愛媛県立医療技術大学 看護学科講師 永井 さつき
総合リハビリテーション伊予病院 理学療法士 兵頭 潤
実技指導：総合リハビリテーション伊予病院 理学療法士 3名

【募集人員】 40名程度（受講希望者が定員を上回った場合、参加者の調整を行います）

【受講資格】

- ①西予市内の高齢者のケアに関わる専門職及び関係者
- ②南予地域の市町において人材育成事業に関わっている専門職（1市町1～2名）

【申込み方法】

所定の様式でkintoneかFAXで、または大学ホームページよりお申込みください

締切：平成29年9月8日（金）

F A X：089-958-2177 愛媛県立医療技術大学 地域交流センター 豊島 宛

HP外へは：<http://www.epu.ac.jp/>（地域交流センター → 公開講座・専門職者対象）

【参加費】 無料

右のQRコードで
携帯電話からも
申込みが可能
です



【主催】 西予市・愛媛県立医療技術大学・愛媛県

【問い合わせ先】

公立大学法人愛媛県立医療技術大学 地域交流センター（沼田/豊島）

TEL:089-958-2111 FAX: 089-958-2177 Mail: toshima-yumi@epu.ac.jp

※裏面に昨年度の研修会の受講者の方の意見・感想を掲載しております

平成28年度研修会受講者の声 “歩き続ける”を支えるためのフットケア

少しでも長く歩き続ける“足”を守る支援のために、高齢者におけるフットケアの重要性や足から全身をみるアセスメントの仕方についての講義の後、演習を通してフットケアの実際を学びました。シャボンラッピング（泡による足浴）、爪切り、ヤスリのかけ方、フットケアの簡易用具の作り方、また足指じゃんけんなどの足の機能を高めるリハビリテーションについて楽しみながら学びました。

足、
足の爪の
ケアの大切さ
を実感した。



住民の
介護予防
教室で
フットケア
を実施
したい。



フットケア研修はとても
新鮮でよかった。足の大切さが
改めて分かった。

歩き続けるためのフットケアを
考えたことがなくとてもよい機会だった。
施設でも使っていけると思った。

フットケアは
気持ちをやわらげる
効果があると思った。

分かりやすい説明で
楽しく学ぶ事ができた。利用者にも
教えてあげたい。自分自身の足も
大切にしたい。

足の機能を高める
リハビリは、自分自身の
フットケアのためにも
実施していきたい。

高齢になるに従って
足のトラブルも増えてくるが、
足のケアに無関心な方も多いため
伝えていきたい。

爪切り、足浴、足のリハビリを
職場で実践したいと思う。足の
ケアの大切さを学ぶ事ができて
よかった。

爪切りの仕方、
ヤスリのかけ方、
安上がりりの道具など
即実践できます。



訪問介護で行うリハビリメニューが
わかった。爪切りをよく頼まれるが、
どのようにカットしていけばよいのか
疑問が解決できた。

歩き続けるを支えるため、
両膝関節が曲がっている利用者の
フットケアに役立てたい。

